

## 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

|      |      |     |              |     |      |     |        |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|------|------|-----|--------------|-----|------|-----|--------|---------|----------------|--------|------|---|-------|---|---|-----|
| 学校番号 | 特 6  | 学校名 | 茨城県立水戸飯富養護学校 |     |      | 課程  | 全日制    |         | 学校長名           | 小室都昭   |      |   |       |   |   |     |
| 教頭名  | 高野 駿 |     | 吉田克吉         |     |      |     |        | 事務(室)長名 | 平根 満           |        |      |   |       |   |   |     |
| 教職員数 | 教諭   | 77  | 養護教諭         | 1   | 常勤講師 | 7   | 非常勤講師  | 4       | 実習教師,実習講師,実習助手 | 2      | 事務職員 | 4 | 技術職員等 | 7 | 計 | 102 |
| 児童数  | 小学部  | 学年  | 1 年          | 2 年 | 3 年  | 4 年 | 5 年    | 6 年     | 合計             | 合計クラス数 |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 男   | 6            | 11  | 8    | 7   | 7      | 9       | 48             | 17     |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 女   | 2            | 2   | 2    | 1   | 4      | 3       | 14             |        |      |   |       |   |   |     |
| 生徒数  | 中学部  | 学年  | 1 年          | 2 年 | 3 年  | 合計  | 合計クラス数 |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 男   | 14           | 10  | 11   | 35  | 13     |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 女   | 1            | 11  | 5    | 17  |        |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|      | 高等部  | 学年  | 1 年          | 2 年 | 3 年  | 合計  | 合計クラス数 |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 男   | 10           | 15  | 12   | 37  | 10     |         |                |        |      |   |       |   |   |     |
|      |      | 女   | 7            | 7   | 3    | 17  |        |         |                |        |      |   |       |   |   |     |

## 2 目指す学校像

児童生徒個々の障害の状態及び特性に対応する適切な教育を行い，一人一人の能力や可能性の伸長を図り，自立と社会参加を目指して，社会生活に主体的に適応できる児童生徒を育成する。

### 3 現状分析と課題

| 項 目      | 現 状 分 析  | 課 題  |
|----------|--|--|
| 学習指導     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の重度・多様化に伴って、小中高の指導の一貫性や個別の指導計画の改善・検討の必要性が出され、保護者からも個別の指導計画の公表要望が出されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の指導計画の公表をどのように進めたら良いか。</li> <li>・ 個別の教育支援計画の策定をどのように進めたら良いか。</li> <li>・ 研究授業体制をどのように進めたら良いか。</li> </ul> |
| 特別活動     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中・高等部の部活動に参加を希望する生徒が多くなっているが、中学部は保護者同伴、高等部は自立通学者を除き保護者同伴を義務づけているため、参加者が限られている。参加できない家庭においても、余暇活動の観点から部活に対する期待は高くなっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活担当者の確保と知的障害者の余暇活動をどう進めたら良いか。</li> <li>・ 諸会議の持ち方をどのように調整したら良いか。</li> </ul>                               |
| 生徒指導     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭の事情や児童生徒の精神的な不安定・問題行動等のため、不登校の児童生徒の増加の傾向が伺われ、それが長期化している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居住地の関係諸機関との連携をどのように進めたら良いか。</li> <li>・ カウンセリングマインド等の研修をどのように進めたら良いか。</li> </ul>                           |
| 進路指導     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路目標の設定や保護者の進路に対する取り組み意識に課題があり、進路開拓とともに個別移行支援計画を視野に入れた取り組みの必要性が大きくなっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正な進路指導をどのような時期からどのように進めたら良いか。</li> <li>・ 個別移行支援計画の策定をどのように進めたら良いか。</li> </ul>                            |
| 教育相談     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターの役割に対する関係諸機関からの要望が大きくなっている。特に、幼稚園、小学校からのコーディネーター要請に大きな期待が寄せられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育相談部の組織化と関係諸機関のコーディネーターとの連携をどのように進めたら良いか。</li> </ul>   |
| P T A 活動 | <p>ボランティア公開講座の運営が一部の参加者に限られ、公開講座修了後のボランティア登録者の定着が難しい中、知的障害者の社会参加のための多様なボランティア要請が寄せられている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者の意識改革とボランティア養成を関係福祉協議会とどのように進めるべきか。</li> </ul>   |

## 4 中期的目標

校内全職員の共通理解に基づく教育支援機能の充実  
保護者との連携・協働による学校経営の推進

- 1 一人一人の障害の実態に応じた適切な個別の指導計画をもとに、個に応じた学習指導の効果的な推進に努める。
- 2 関係諸機関との連携を深め、個別移行支援計画、個別の教育支援計画を作成し、地域社会における支援体制を推進する。
- 3 幼稚園、小学校、中学校、卒業生への教育相談を充実させ、地域におけるセンター的役割を推進する。
- 4 社会の要請に応じた専門性の向上を図るために、教務部現職教育係や教育相談部等が中心となって校内外の研修の充実に努める。
- 5 中学部、高等部の余暇活動の推進を図るため、スポーツや文化的活動の充実に努める。

## 5 年次ごとの重点目標

| 年次  | 重点目標                        | 具体的目標  | 達成状況 |
|-----|-----------------------------|--|------|
| 1年次 | 1 個別の指導計画の検討・改善             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進係を中心とした検討・改善</li> <li>・保護者の授業評価（年5回）</li> <li>・個別の指導計画の保護者への公表</li> </ul>  |      |
|     | 2 個別の教育支援計画及び個別移行支援計画の書式の作成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援計画策定推進委員会の設置</li> <li>・個別の教育支援計画作成等に伴う連絡会の開催と外部評価（年2回）</li> </ul>  |      |
|     | 3 教育相談体制のためのネットワークの構築       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係教育委員会や福祉関係機関等との連携</li> <li>・居住地校等との連携</li> <li>・障害児就学指導地方研究協議会の活用（7月9日）</li> </ul>   |      |
|     | 4 専門的研修の推進                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊教育免許取得の推進（認定講習・放送大学等）や教育研修センターの希望研修講座等への参加の呼びかけ，計画的な校内外の研修の推進</li> <li>・校内研究テーマに基づいた研修計画の充実を図るとともに，課題意識を持って初任研・5年次研・10年経験者研に取り組めるような雰囲気作りの推進</li> <li>・教育相談係が中心となって諸検査の講習会の開催</li> </ul> |      |
|     | 5 余暇活動への校内支援体制の充実           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や文化的活動の推進，各種イベントへの参加</li> <li>・部活動の指導体制の在り方の検討</li> <li>・保護者との部活懇談会の開催（年2回程度）</li> <li>・校内支援体制の強化（PTA・親の会との連携）</li> <li>・地域の種々の余暇活動への参加のための体制作り</li> </ul>                              |      |

|      |                  |   |  |
|------|------------------|---|--|
| 2 年次 | 1 個別の指導計画の活用     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通知票との関連性について検討</li> <li>・保護者による授業評価（年5回）の継続と評価結果の公表</li> <li>・個別の指導計画の保護者への公表（継続）</li> <li>・個別の指導計画を踏まえた学習指導案の作成</li> </ul>                                 |  |
|      | 2 個別の教育支援計画等の活用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援計画策定推進委員会の機能の促進</li> <li>・個別の教育支援計画等作成に伴う連絡会の開催と外部評価（年2回）</li> </ul>  |  |
|      | 3 計画的な教育相談体制の推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係教育委員会や福祉関係機関等との連携</li> <li>・学校見学会の開催やHPでの相談体制のPRの推進</li> <li>・近隣の関係機関を集めての教育相談に関する公開講座等の開催</li> <li>・センター化機能の充実に伴う校務分掌組織の改善</li> </ul>                    |  |
|      | 4 専門研修の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊教育免許取得の推進・研修センターの希望研修講座等への参加の呼びかけ</li> <li>・校内研究の推進と研修計画の充実に図るとともに、課題意識を持って初任研・5年次研・10年経験者研に取り組めるような雰囲気作りの推進</li> <li>・カウンセリングや医療的ケアに関する研修会の開催</li> </ul> |  |
|      | 5 余暇活動の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターや社会福祉協議会等と連携した生涯学習体制の推進</li> <li>・資格取得講座等の検討</li> <li>・地域の種々の余暇活動への参加の推進</li> </ul>   |  |
| 3 年次 | 1 個別の指導計画の活用     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者による授業評価の継続（年5回）、評価結果の公表と活用</li> <li>・個別の指導計画の保護者への公表（継続）</li> <li>・授業評価の推進</li> </ul>  |  |
|      | 2 個別の教育支援計画等の見直し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進係を中心とした検討・改善</li> <li>・個別の教育支援計画作成に伴う連絡会の開催と外部評価（年2回）</li> </ul>  |  |
|      | 3 効果的な教育相談体制の確立  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターに関する研修会の開催</li> <li>・関係教育委員会や福祉関係機関等との連携強化</li> <li>・近隣の関係機関を集めての公開講座等の開催</li> <li>・センター化機能の充実に伴う校務分掌組織の充実</li> </ul>                               |  |
|      | 4 専門研修の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊教育免許取得の促進、計画的な校内外の研修機会の充実</li> <li>・個人の研修課題の明確化と研修テーマの設定、個人のテーマに沿った研修計画の推進</li> <li>・医療的ケアに関する研修会の開催</li> </ul>   |  |
|      | 5 余暇活動の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターや社会福祉協議会等と連携した生涯学習体制の推進（継続）</li> <li>・資格取得講座等の検討（継続）</li> <li>・地域の種々の余暇活動への参加の推進（継続）</li> </ul>   |  |